TOUCH 樹脂製置き床材　取扱説明書

※この説明書はメーカーの英文取扱説明書を基に作成していますが弊社側の経験不足から、説明不足や間違った説明等が含まれている場合があります。あくまで参考にしていただき、施工現場でのお客様側での工夫した対応をお願いします。
但し、接着剤、釘等で下地に固定しない事や床下地の準備（フラット、異物がない含水率が規定以下等）や施工環境に関しては必ずお守りください。
今後のお客様からのご意見を参考に随時改善して完成度の高い説明書にしていきますのでご理解・了承お願いいたします。
たくさんのご意見、ご指導お待ちしています。

1．施工前の床下地の準備

・十分に養生させて含水率を4.5%以下にしてください。

・下地表面を平らで滑らかな状態にならしてください。施工面に2㎜/2m以上の傾斜がある場合は水平になるように調整してください。

・ひび割れのある箇所は補修してください。

・下地表面にある汚れや異物を完全に取り除いてください。

（備考）

・下地に隆起があると製品に段差が生じたり、きちんと取り付けられません。

・下地表面の強度が不十分だと、タイルが浮き上がったりはがれたりすることがあります。

2．施工環境の確認

・施工に適した温度は18℃です。10℃以下の時は施工を見合わせてください。

・室温になじませるため、施工前に1日以上、フローリングを現場に保管してください。施工後48時間は床暖房を使用しないでください

・フローリングが変形するので電気パネルやフィルムの上に直接施工しないでください

・敷居を取り外す際の注意：現場の処理状況次第で床はフラットではなく、段差がついている場合があります。

・配線の処理状況確認：配線を巾木の中に埋めると、フローリングが伸縮した場合に十分なスペースがとれなくなります。夏場の膨張により、施工不良が起こる可能性があります。

・現場の窓や壁に結露が生じる場合、その水滴がタイルに落ちることを施主に伝える。

（備考）

・適温で施工するようにしてください

・寸法の安定性の確認をしてください。

3. 施工前の作業

・必要があれば、敷居を取り外す。

・水平でない場合、7インチの電気ルータまたはグラインダーを使って水平にしてください。

・下地表面の清掃

防湿シートを敷く前には下地の異物を完全に取り除いてください。防湿シートが破損すると水平不均衡や湿気が発生する原因となります。

・防湿シートの取り付け

下地の異物を完全に取り除いて防湿シートに傷がつかないようにする。20cm以上をオーバーラップさせてテープで接着してください。床からの湿気がタイルの歪曲を引き起こすことがあるので含水率を4.5%以下にしてください。含水率が4.5～8.5%の時は接着の箇所を30cm以上重ねて敷いてください。

（備考）

・下地に隆起があるとタイルをうまく取り付けることができません。

・下地の強度が不十分な場合、タイルが浮き上がったりはがれたりすることがあります

4. 製品本体の確認

・使用・取付するフローリングが正しく同じ商品か確認する。

・製造ロットが異なる場合は数箱以上を同時に混合して施工してください。

（備考）　・色違い、バラツキの予防策

5.施工・取付

・１列目の最初のフローリングは長辺側のサネをカットしてください。

・製品をできるかぎりカットせず、バランスよく施工できるようにレイアウトしてください。

・壁から５～10㎜のクリアランスを確保してください。
（夏、冬等の伸縮した場合のトラブルを避ける為。）

・1列目の短辺側を長手方向に接合していきます。最後のフローリングはスペースに応じてカットします。

・2列目は1列目の長辺側から接合部に20～30度の角度をつけてはめ込み押し込んでください。(クリック＆ドロップ)

又、隣の列の短辺接合部と２列目に貼るフローリングの短辺接合部は長辺の1/3～2/3の長さをずらしてレイアウトすることをお勧めします。

＊商品ページ等で施工の動画を掲載していますので参考にしてください。
掲載されている動画は商品ブランド名、厚み等異なりますが施工方法は基本的に同じです。

FTC　Touch　樹脂製置き床材のお手入れ

製品を長期間美しく保つためにも、定期的なお手入れをおすすめします

フロアの管理

FTC　Touch　フローリングは、さまざまな色とパターンの選択や、優れた耐久性により快適な歩行の観点として多くの利点を持っています。また、簡単なアプリケーションやメンテナンスが必要ですが、定期的な清掃やお手入れは美しい製品を維持するために必要です。以下の手順に従ってメンテナンスを行ってください。

1.日常のお手入れ　（住居、商業スペース）

1）汚れや埃は床のダメージや色褪せの原因となります。汚れが付着した場合は速やかに落とし、定期的に掃除してください。

2）汚れが落ちにくい場合は中性洗剤を使用し、固く絞った雑巾などでふき取ってください。その際床を濡らし過ぎるとタイルが変形することがあるので十分注意してください

3）ペンキやインクなどを付けた場合は、ただちにアルコールでふき取ってください。シンナー等は色褪せの原因となるので使用しないでください。

4）オイルなど油性の汚れは中性洗剤で落としてください。

2．トップコートSurface protection treatmentについて　（商業スペース）

1）トップコートは特に必要ありませんが、ワックスを使用することで表面の磨耗や汚れの付着を軽減することができます。

2）ワックスを使用する際は、あらかじめ表面の汚れを中性洗剤などで落としたうえで薄く2〜3回塗り重ねてください。

3）お手入れの頻度はそのスペースの使用方法によって異なります

通行量	絞った雑巾	ワックス	
多い	こまめに使用する	週に2〜3回	百貨店、オフィスなど
中くらい		月に2〜3回	展覧会会場など
少ない		半年に一度	住居（居室、キッチンなど）

4）床表面の仕上げに応じて（鏡面仕上げ、マット仕上げ、木質系、PVC）、適したトップコート（ワックスなど）を使用してください。また、床暖房を使用している場合には高い耐熱性、水をよく使う場所には高い撥水性のあるコートを使用してください。

3. その他　（住居、商業スペース）

1）商業スペースなど土足で使用する場所では、外からの汚れを持ち込まないようにエントランスマットを使用してください。

2）色褪せや収縮を避けるために、直射日光の当たる場所ではカーテンなどを使用してください。

3）家具の足に取り付けられているゴム製のすべり止めがPVCフロアに直接触れると色褪せの原因となります。アルミホイルや紙などを挟み直接触れないようにしてください。

4）特に重い家具（ピアノなど）を移動させる際には、フロアの凹みや損傷に注意してください。

5）キッチンや洗面所などの水回りではシリコンを使用するなど水によるダメージを防いでください。